



(第5期)第16回まつもと子ども未来委員会の報告

令和2年2月7日

第5期の第16回まつもと子ども未来委員会を、令和2年2月2日(日)あがたの森文化会館で行いました。この日は、31人の委員のうち、インフルエンザの流行もあり7人の委員、2人のサポーターが出席しました。

今回は、最初に松本ユース平和ネットワークによる「平和のために一人ひとりができること」として、出前講座を受けました。

松本ユース平和ネットワークとは、平和を創る活動を若い世代(高校生・大学生)が担い、小中学生等に、平和について考えるきっかけとなるような発信を行うことを活動理念としています。

講座は、まず太平洋戦争当時の人々の暮らしと現在の暮らしの違いを通して平和を考えるため、戦時中の食事や服装、学校での授業内容について、説明を受けました。

次に、世界に目を向けて平和について考えるため、世界の貧困の国の状況や紛争や戦争について説明を受けました。



～未来委員会の子どもの感想～

- 今、自分たちが当たり前のように送っている生活は、平和だからできること。
- 当時の学校では、自分が学びたいことが学べなかった。
- 食べ物を食べられるのが、当たり前になっている。
- 平和な未来のために、人々ができることは、みんなにとっての平和とは。

次に、来年度のまつもと子ども未来委員会の^{ほしゅう}募集案内チラシの作成を行いました。

小学生と中学生以上のグループに分かれて、どういう内容をチラシに^の載せ、みんなにチラシを見てもらうにはどうすればいいか考えました。

☆小学生グループ

- ・内 容
活動期間・対象学年・開催回数
第5期の活動・委員の感想・サポーター
委員会のマーク・QRコード
- ・方 法
すべて手書きで、内容は^{かじょうが}箇条書きにする。
手書きのイラストを載せる。



☆中学生以上グループ

- ・内 容
活動期間・対象学年・開催回数
第5期の活動・委員の感想・^{けいさい}写真の掲載
委員会のマーク・QRコード
- ・方 法
内容は、分かりやすい文書とする。
委員会の様子^{ようす}がわかる写真を掲載する。
委員の感想は、手書きとする。



みんなが、それぞれの役割を決め、協力し合い、来年度の募集チラシが完成しました。

次回の委員会は、3月8日（日）にあがたの森文化会館で行います。

今期（第5期）の委員会活動は、この日が最終になります。